



種名：タイリクバラタナゴ *Rhodeus ocellatus ocellatus*
分類：国外外来種（2D：総合(重点)）

※我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト

- ・国内に定着が確認されており、生態系等への被害のおそれがあるため、総合的に対策が必要な外来種のうち、甚大な被害が予想される重点的に対策が必要な種。

○大きさ

- ・成魚：4～8cm

○生息箇所(すみか)

- ・利根川や霞ヶ浦の全域に生息しています。
- ・水路等の流れの緩いところを好みます。

○生態(どんな生活をしているか)

- ・雑食性(ざっしょくせい)で付着藻類(石等に生えるも)や小型の底生動物(アカムシやケンミジンコ等)を食べます。
- ・春から夏(3～9月)にドブガイ類の中に卵をうみつけます。

○釣りや漁業

- ・超小型(ちょうこがた)の針と仕掛けを使う繊細(せんさい)な釣りです。微妙なウキの動きであたりをとるのが醍醐味といわれています。
- ・漁業や水産利用(すいさんりよう)はありません。

○地域利用

- ・観賞用(かんしょうよう)に飼育されることがありますが、在来種のアカヒレタビラ等のタナゴ類への競合するため、安易に川から持ち出しさないようにしましょう。
- ・食用としては活用されていません。